

平成 27 年度推進会議及び点検・確認作業から見えてきた 課題に対する行政の考え方と対応

課題 1 : 課題解決に向けた取組み、見直し・改善策の具体化

推進会議からのコメント	行政の考え方と対応
<p>◆手段・方法の明確化</p> <p>施策評価シート ACTION 欄で掲げる新たな取組み（案）見直し・改善（案）において、「取組みの方向性」と「具体的方策」とが混同され、課題解決のための手段・方法が明確でないものが多く、評価しにくい。</p>	<p>H26 施策評価では、課題解決に向けた取組みに、具体的にどう取り組んでいくのかについて、示されていない事例もありました。</p> <p>H27 施策評価からは、それぞれの取組みに対する手段・方法を具体的にお示ししていきます。</p>

課題 2 : 市民にとってわかりやすい資料・説明

推進会議からのコメント	行政の考え方と対応
<p>◆取組みの優先度の明確化</p> <p>ACTION 欄で挙げる新たな取組み（案）見直し・改善（案）について、要因分析の結果見えてきた課題の順位付けを行い、優先度の高いものから対策を講じていく必要がある。</p>	<p>資料 3（施策評価シート フォーマット変更案）にお示したとおり、課題解決に向けた優先度の高い取組みから順に列記することとします。また、優先度の高い取組みから順に記載していることが分かるよう、シートにもその旨を明記します。</p>
<p>◆アクションに対する期限の設定</p> <p>ACTION 欄で挙げる新たな取組み（案）見直し・改善（案）について、“いつまでに”という期限を示してほしい。</p>	<p>資料 3にお示したとおり、H27 施策評価からは、それぞれの取組みに対する年月の期限（いつから・いつまでに）を明確にお示しします。</p>
<p>◆要点をまとめた分析</p> <p>「市民意識調査結果に対する分析」について、要点を箇条書きでまとめ、簡潔に記載してほしい。また、真に強調したい部分がボヤけてしまうため、強調の下線は最小限に抑えてほしい。</p>	<p>ご意見のとおり、分析結果については要点を箇条書きで簡潔にまとめ、市民にわかりやすい表現に努めます。また、下線も真に強調したい部分のみに施すこととします。</p>
<p>◆消極的な表現を控える</p> <p>「～を検討する・図る」という書きぶりは、消極的な印象を受けるため、極力避けてほしい。</p>	<p>H26 施策評価より対応させていただきました。H27 以降の施策評価においても継続して対応していきます。</p>
	<p>◆委員にとってわかりやすい簡潔な説明</p> <p>行政からの各種発表の際、設定された時間を超過しての説明となることが多々ありました。限られた時間の中で、いかに有意義な説明をするかを念頭に置き、要点を簡潔にまとめ、委員にとってわかりやすい発表を心掛けます。</p>

課題3：市民・地域との関わり

推進会議からのコメント	行政の考え方と対応
<p>◆“地域の主体”の明確化</p> <p>シートの至る所に「地域」という言葉が出てくるが、具体的にどのような主体と連携・協力していくのかが不明確である。うっかりすると「地域」が風景化し、連携・協力のパートナーとして作動しない恐れがある。ターゲットを明確に表現していただきたい。また「市民」「地域」と表現している中には、地元企業も考慮すべきである。</p>	<p>H26 施策評価より対応させていただきました。今後も、地域のどの主体をターゲットとしているのかを明確にお示しするとともに、まちづくりのパートナーの一員として、地元企業にも積極的にアプローチを行っていきます。</p>
<p>◆「自助」「共助」「公助」の観点を忘れずに</p> <p>全ての取組みを「自助」「共助」「公助」の観点で仕分けてみてはどうか。総合計画の目標達成に向けては、行政の力だけでは無理であり、市民・地域の力が不可欠である。市民・地域の役割、行政の役割をふまえて、今後の見直し・改善（案）を示していくと、市民も理解しやすいのではないかと。</p>	<p>資料3にお示ししたとおり、まちづくりの基本原則である「参画・協働・情報共有」の工夫の欄を設け、市民・地域に果たしていただく役割や、総合計画に掲げる目標達成に向け、市民・地域とともにどのように取り組んでいくかを明示していきます。</p>
<p>◆まちづくりへの関心を高めるアクション</p> <p>総合計画の策定・実践に関わっていた方たちが、市政運営にだんだんと関わりを持たなくなっていることが、市民意識調査の結果から感じ取れる。まちづくり活動への一歩を踏み出した人や、これから参加しようと思っている人が、市政運営やまちづくりへの興味・関心・理解を深め、少しでも意見を出したり活動していただけるように望む。</p>	<ul style="list-style-type: none">・上述のとおり、「参画・協働・情報共有」の原則を徹底し、市民とのキャッチボールを重ね、連携を密に行っていきます。・市内で行われているまちづくり活動の内容・成果等を広く周知し、まちづくり活動の大切さ、みんなでまちのために汗を流すことの素晴らしさを伝え、まちづくりの担い手の育成・裾野を広げる取組みをさらに進めていきます。

課題4：市民意識調査に関して

推進会議からのコメント	行政の考え方と対応
<p>◆市民意識調査の回収率向上</p> <p>市民意識調査の結果を分析し、その分析を今後の取組みに活かしていくという点からも、回収率を向上させるための方法を考えていく必要がある。</p>	<p>広報掲載のほか、地域の会合に積極的に向き、調査協力に対する勧奨をするとともに、回収率向上に向けた研究・検討を行っていきます。</p>
<p>◆男女比の見える化</p> <p>各設問における、男女の年代別の割合が見えると良い。</p>	<p>母数が少なく、誤差も大きくなることが予測されるため、参考数値として算出することとします。</p>